資料３－５

令和5年度
デジタル田園都市国家構想交付金
（地方創生推進タイプ）活用事業の実績

2024年7月
北海道石狩振興局

いしかり・ライフstyle魅力発信・若者定着促進事業

さっぽろ圏の共通課題である「若者の地元定着」と「首都圏からの人材還流」の促進に向け、地域協働で策定した「若者の地元定着促進プラン」を着実に推進するため、参加市町村等との連携により事業を実施し、その成果を関係機関が参画する協議会において検証の上、ノウハウを共有し、管内での横展開を図る。

札幌圏地元定住促進協議会設立運営による広域的な取組

（管内８市町村・北海道石狩振興局・有識者・ハローワーク・大学・金融機関、人材紹介会社等）

〔北海道（石狩振興局）の役割〕

●**総合調整**

地元定着促進プランの進捗管理、協議会運営、推進体制検討　など

●**広域的な取組の実施、若者の定着促進に必要な各種調査の実施**

大学生の地域活動支援事業、首都圏と比較した「いしかり・ライフstyle」を効果的に発信するPRの実施　など

「若者の地元定着促進プラン」に基づき、「若者の地元定着」及び「首都圏からの人材還流」を目指し、段階に応じた取組を展開

	在学・就業準備期	就業活動期	就　業　後
若者対策 管内	●「早期から地元を知る」機会の提供 ●「地元の愛着」醸成	●「多様な選択肢」 「管内で働く魅力」 「管内で生活する魅力」の発信	●「働き続ける」環境を整備
		●「起業」支援	
若者対策 首都圏	●「石狩管内と管内企業を知る」機会の提供	●ＵＩターン「就職」促進 ●「石狩管内と管内企業を知る」機会の提供	●ＵＩターン「転職」の促進
企業対策	●「情報発信力」の強化 ●「企業の魅力発信力」の強化	●人材「採用力」の強化	●人材「育成力」の強化 ●「中途採用力」の強化

→ 若者定着・人材確保

令和５年度の取組実績

「若者の地元定着」と「首都圏からの人材還流」促進のための事業を実施

①大学生等がいしかり地域とのかかわりを持つことで、地元理解を深め、定住促進につなげる「大学等との連携による学生の地域活動支援事業」

○ 北海学園大学（13名）
- 石狩地域における公共交通の需要喚起策の企画・提案
- 「路線バスを活用した旅行プラン」をテーマに石狩市内で活動

○ 札幌学院大学（50名）※自走化モデル
- 北広島市内の企業を調査、企業ＰＲ動画を作成・情報発信
- 活動テーマや進め方など、一連の地域活動を大学主体の講義で実施

○ 公立千歳科学技術大学（6名）
- 市役所窓口業務の効率化・ＤＸ化に関する企画・提案
- 千歳市及び恵庭市と連携しながら地域の現状やニーズなどについて調査研究

○ 当別高校（156名）
- 高校と地域が連携協働する「CLASSプロジェクト」及び石狩教育局との連携により、モデル事業として実施。
- 「総合的な探求の時間」に地域関係者の協力を得て活動

＜地域活動の様子＞

②首都圏大学との連携による「首都圏大学生の地域活動支援事業」

□事業趣旨

首都圏からの人流還流及び地元定着を促進するため、首都圏の大学生とが石狩管内の大学生が共同で地域活動に取組、活動を通じて石狩地域とのつながりや親しみ・愛着醸成を図る

文教大学（埼玉県）（11名）×
星槎道都大学（7名）

○ 学生が２班（①地域資源発掘、②生活体験）に分かれ、各種調査活動や石狩管内における現地調査（３泊４日）などを実施

○「活動報告会（文教大・オンライン）」を開催
・石狩地域のＰＲ活動を合わせて実施

＜大学生の地域活動の様子＞

KPI	基準値（H30）	R2（1年目）	R3（2年目）	R4（3年目）	R5（4年目）	目標（R6）
○管内若年層（15～29歳）の首都圏への転出超過数	3,352人	2,399人	2,400人	2,782人	3,242人	3,139人
○学生等の事業参加者数	1,041人	1,720人	1,481人	1,031人	1,449人	1,300人
○セミナー等事業参加企業数	166社	294社	543社（2か年累計）	826社（3か年累計）	1,188社（4か年累計）	668社（5か年累計）